



## 2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年4月22日

上場会社名 株式会社シグマクス 上場取引所 東  
 コード番号 6088 URL <https://www.sigmaxyz.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富村 隆一  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役CFO (氏名) 田端 信也 TEL 03 (6430) 3400  
 定時株主総会開催予定日 2021年6月24日 配当支払開始予定日 2021年6月7日  
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（新型コロナウイルスの感染拡大防止を考慮し、オンライン開催予定）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2021年3月期の連結業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

#### （1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	14,024	△12.4	1,747	△21.0	1,797	△16.9	1,210	△14.0
2020年3月期	16,003	20.1	2,211	74.2	2,164	63.7	1,407	54.8

（注）包括利益 2021年3月期 1,210百万円（△14.0%） 2020年3月期 1,407百万円（54.8%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	63.32	63.26	23.0	18.0	12.5
2020年3月期	72.87	72.58	29.3	26.0	13.8

（参考）持分法投資損益 2021年3月期 5百万円 2020年3月期 △111百万円

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	10,283	5,462	53.1	287.61
2020年3月期	9,669	5,036	52.1	263.82

（参考）自己資本 2021年3月期 5,462百万円 2020年3月期 5,036百万円

#### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	1,598	285	△783	5,275
2020年3月期	2,335	△2	34	4,175

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	-	0.00	-	22.00	22.00	453	30.2	8.8
2021年3月期	-	0.00	-	22.00	22.00	453	34.7	8.0
2022年3月期(予想)	-	0.00	-	24.00	24.00		30.6	

### 3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,000	14.1	2,500	43.0	2,500	39.1	1,500	24.0	78.49

2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期	21,104,300株	2020年3月期	21,068,300株
----------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2021年3月期	2,110,564株	2020年3月期	1,977,334株
----------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数

2021年3月期	19,109,979株	2020年3月期	19,312,690株
----------	-------------	----------	-------------

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	13,736	△13.0	1,668	△24.1	1,792	△24.0	1,247	△13.0
2020年3月期	15,797	20.2	2,199	81.2	2,359	81.3	1,433	61.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	65.28	65.22
2020年3月期	74.21	73.92

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	10,193	5,415	53.1	285.11
2020年3月期	9,556	4,951	51.8	259.37

(参考) 自己資本 2021年3月期 5,415百万円 2020年3月期 4,951百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。今後の見通し及び前提条件に関しましては、添付書類2ページ「経営成績等の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(1株当たり情報) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

#### ① 当期の経営成績

わが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にある中、持ち直しの動きが続くものの、一部に弱さが見られます。先行きについては持ち直しが期待される一方、感染の動向が内外経済に与える影響や、金融資本市場の変動等の影響は注視する必要があります。

このような環境の中、当社グループは、企業のデジタル・トランスフォーメーション（以下、DX）の支援などの事業を推進しております。第1四半期連結会計期間においては新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けましたが、第2四半期連結会計期間以降はコンサルティング案件の受注も前年並みに回復いたしました。当連結会計年度を通じて、デジタルワークプレイス環境を最大活用しながらサービス提供を継続いたしました。

当連結会計年度の業績並びに経営指標の状況は以下のとおりです。

当連結会計年度の売上高は14,024,337千円（前連結会計年度比12.4%減）となりました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けている航空業界向けのコンサルティングサービスや、小売業界向けコールセンター案件において付随的に行っていた利益貢献の軽微なハードウェア/ソフトウェア製品調達代行サービスを順次提供縮小させたことによりプロダクトセールスが減少した一方、ERPクラウド化サービス、企業のDX戦略策定、組織と人材の活性化、新規事業やサービス開発などを支援するプロジェクトが事業を牽引しました。

販売費及び一般管理費につきましては、新型コロナウイルス感染症対策関連経費が増加したものの、その他経費の削減により3,576,318千円（前連結会計年度比9.7%減）となりました。

売上高の減少を受け、売上総利益は848,500千円減の5,324,306千円（前連結会計年度比13.7%減）、営業利益は463,557千円減の1,747,987千円（前連結会計年度比21.0%減）、経常利益は366,734千円減の1,797,699千円（前連結会計年度比16.9%減）となりました。

特別利益につきましては、主に4月に株式会社ローソンデジタルイノベーションの株式の持分を全て株式会社ローソンに売却したことにより147,345千円発生しました。同社はローソン事業のデジタル化推進などを目的として2016年に設立した合弁会社であり、所期の目的を達成したため株式を売却いたしました。

法人税等合計は、735,018千円（前連結会計年度比4.5%減）となりました。

税金等調整前当期純利益は1,945,045千円（前連結会計年度比10.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、1,210,026千円（前連結会計年度比14.0%減）となりました。

人材採用につきましては、当連結会計年度において経験者34名、新卒51名が入社しました。その結果、コンサルタント481名、総社員数554名（前連結会計年度比30名増）の組織規模となっております。

プロジェクト満足度は94ポイントと高い水準を維持しています。

#### ② 今後の見通し

以下の今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染状況による影響が不透明ながら現時点での把握できる情報に基づいて作成しております。状況に変化がありましたら適宜見通しに反映させていただきます。

当社の事業を構成するコンサルティング事業・アライアンス事業を連携し、お客様のDX支援、各種事業への投資、ジョイントベンチャーの創設を行うとともに、過去の投資案件から収益を獲得し、事業のさらなる成長を推し進めます。

そのために必要なコンサルタント能力（スキル×人数）の拡充を行います。新卒に関しましては、2021年4月1日に50名が入社いたしました。また経験者採用においても優秀な人材を採用する方針を継続いたします。

以上、2022年3月期の連結業績見通しにつきましては、売上高16,000,000千円（前連結会計年度比14.1%増）、営業利益2,500,000千円（同43.0%増）、経常利益2,500,000千円（同39.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益1,500,000千円（同24.0%増）を予想しております。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当連結会計年度末の流動資産は8,015,983千円(前連結会計年度比1,072,541千円増)となりました。主な内訳は、現金及び預金5,275,769千円、売掛金1,787,267千円であります。また、固定資産は2,267,907千円(同458,023千円減)となりました。主な内訳は、投資有価証券986,176千円、ソフトウェア327,340千円であります。

(負債)

当連結会計年度末の流動負債は3,239,357千円(同185,413千円減)となりました。主な内訳は、短期借入金1,600,000千円、未払金598,999千円、未払法人税等384,674千円であります。また、固定負債は1,581,828千円(同373,807千円増)となりました。主な内訳は、役員株式給付引当金925,517千円であります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産は5,462,704千円(同426,123千円増)となりました。主な内訳は、資本金2,848,506千円、利益剰余金3,938,630千円、自己株式2,475,262千円であります。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、5,275,769千円(前連結会計年度比1,100,201千円増)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動により得られた資金は1,598,103千円(前連結会計年度は2,335,942千円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益1,945,045千円、株式給付引当金の増減額417,272千円、法人税等の支払額954,060千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動により得られた資金は285,102千円(前連結会計年度は2,947千円の使用)となりました。これは主に投資有価証券の売却及び償還による収入267,983千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動により使用した資金は783,648千円(前連結会計年度は34,842千円の収入)となりました。これは主に、短期借入金の増減額400,000千円、自己株式の取得による支出734,595千円、配当金の支払額452,520千円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率 (%)	65.1	52.1	53.1
時価ベースの自己資本比率 (%)	377.9	341.7	347.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	1.7	65.3	119.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	1,322.9	1,487.4	270.5

自己資本比率 : 自己資本／総資産  
 時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額／総資産  
 キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債／キャッシュ・フロー  
 インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー／利払い

(注) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループでは、連結財務諸表の企業間比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮した上で適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,175,567	5,275,769
売掛金	1,912,122	1,787,267
営業投資有価証券	648,433	714,796
その他	233,718	238,149
貸倒引当金	△26,400	-
流動資産合計	6,943,442	8,015,983
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	190,971	144,150
その他（純額）	60,139	34,908
有形固定資産合計	251,110	179,058
無形固定資産		
ソフトウェア	251,150	327,340
ソフトウェア仮勘定	167,389	167,221
その他	6,729	6,177
無形固定資産合計	425,268	500,739
投資その他の資産		
投資有価証券	1,346,620	986,176
繰延税金資産	245,443	220,136
その他	457,486	381,795
投資その他の資産合計	2,049,550	1,588,109
固定資産合計	2,725,930	2,267,907
資産合計	9,669,373	10,283,891

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	356,138	221,061
短期借入金	1,200,000	1,600,000
未払金	899,514	598,999
未払法人税等	660,596	384,674
株式給付引当金	193,393	203,025
その他	115,128	231,597
流動負債合計	3,424,770	3,239,357
固定負債		
長期借入金	300,000	300,000
リース債務	16,375	10,704
株式給付引当金	248,312	259,163
役員株式給付引当金	556,888	925,517
資産除去債務	86,444	86,444
固定負債合計	1,208,021	1,581,828
負債合計	4,632,791	4,821,186
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,842,098	2,848,506
資本剰余金	1,108,045	1,150,829
利益剰余金	3,181,923	3,938,630
自己株式	△2,095,486	△2,475,262
株主資本合計	5,036,581	5,462,704
純資産合計	5,036,581	5,462,704
負債純資産合計	9,669,373	10,283,891

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	16,003,192	14,024,337
売上原価	9,830,385	8,700,031
売上総利益	6,172,807	5,324,306
販売費及び一般管理費	3,961,262	3,576,318
営業利益	2,211,544	1,747,987
営業外収益		
受取利息	5,632	6,736
受取配当金	15,674	-
持分法による投資利益	-	5,286
為替差益	3,129	643
有価証券運用益	5,287	6,343
受取ロイヤリティー	2	7,359
講演料等収入	14,193	18,523
協賛金収入	8,150	4,845
業務受託料	7,200	2,720
雑収入	9,445	4,361
営業外収益合計	68,714	56,820
営業外費用		
支払利息	1,570	5,908
持分法による投資損失	111,110	-
自己株式取得費用	2,410	1,199
雑損失	733	0
営業外費用合計	115,824	7,108
経常利益	2,164,434	1,797,699
特別利益		
投資有価証券売却益	89,015	147,345
特別利益合計	89,015	147,345
特別損失		
減損損失	76,765	-
特別損失合計	76,765	-
税金等調整前当期純利益	2,176,683	1,945,045
法人税、住民税及び事業税	852,637	709,711
法人税等調整額	△83,315	25,306
法人税等合計	769,321	735,018
当期純利益	1,407,362	1,210,026
親会社株主に帰属する当期純利益	1,407,362	1,210,026



(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	1,407,362	1,210,026
包括利益	1,407,362	1,210,026
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,407,362	1,210,026

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	2,824,227	1,074,227	2,148,958	△1,491,162	4,556,250	4,556,250
当期変動額						
新株の発行	17,871	17,871			35,742	35,742
剰余金の配当			△374,397		△374,397	△374,397
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,407,362		1,407,362	1,407,362
自己株式の取得				△1,299,202	△1,299,202	△1,299,202
自己株式の処分		15,947		694,878	710,825	710,825
当期変動額合計	17,871	33,818	1,032,964	△604,324	480,330	480,330
当期末残高	2,842,098	1,108,045	3,181,923	△2,095,486	5,036,581	5,036,581

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	2,842,098	1,108,045	3,181,923	△2,095,486	5,036,581	5,036,581
当期変動額						
新株の発行	6,408	6,408			12,816	12,816
剰余金の配当			△453,318		△453,318	△453,318
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,210,026		1,210,026	1,210,026
自己株式の取得				△899,589	△899,589	△899,589
自己株式の処分		36,375		519,813	556,189	556,189
当期変動額合計	6,408	42,783	756,707	△379,776	426,123	426,123
当期末残高	2,848,506	1,150,829	3,938,630	△2,475,262	5,462,704	5,462,704

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	2,176,683	1,945,045
減価償却費	236,454	226,292
のれん償却額	589	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	26,400	△26,400
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	425,960	417,272
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	211,545	368,628
受取利息及び受取配当金	△21,306	△6,736
支払利息	1,570	5,908
為替差損益 (△は益)	△3,129	△643
持分法による投資損益 (△は益)	111,110	△5,286
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△146,373
減損損失	76,765	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△89,015	△972
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	△306,972	△66,363
売上債権の増減額 (△は増加)	△259,759	124,854
たな卸資産の増減額 (△は増加)	58,290	725
前払費用の増減額 (△は増加)	17,817	24,550
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,667	△135,077
未払金の増減額 (△は減少)	227,802	△295,970
その他	8,163	76,504
小計	2,903,638	2,505,957
利息及び配当金の受取額	22,927	8,014
持分法適用会社からの配当金の受取額	—	44,100
利息の支払額	△1,570	△5,908
法人税等の支払額	△591,624	△954,060
法人税等の還付額	2,571	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,335,942	1,598,103
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△12,933	△2,421
無形固定資産の取得による支出	△135,891	△184,986
関係会社株式の売却による収入	—	225,420
投資有価証券の取得による支出	△54,528	△20,000
投資有価証券の売却及び償還による収入	437,219	267,983
関係会社貸付けによる支出	△78,000	—
その他の支出	△158,813	△17,034
その他の収入	—	16,141
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,947	285,102
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額 (△は減少)	1,200,000	400,000
長期借入れによる収入	300,000	—
リース債務の返済による支出	△9,361	△9,348
自己株式の取得による支出	△1,117,930	△734,595
株式の発行による収入	35,742	12,816
配当金の支払額	△373,608	△452,520
財務活動によるキャッシュ・フロー	34,842	△783,648
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,129	643
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,370,966	1,100,201
現金及び現金同等物の期首残高	1,804,601	4,175,567
現金及び現金同等物の期末残高	4,175,567	5,275,769

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、コンサルティング業を主な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービス区分の外部顧客への売上高が、連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦における売上高が、連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦における有形固定資産の金額が、連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高
日本航空株式会社	1,720,108

(注) 当社グループの事業セグメントは、コンサルティング業を主な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、関連するセグメント名は記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービス区分の外部顧客への売上高が、連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦における売上高が、連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦における有形固定資産の金額が、連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める顧客が存在しないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

当社グループの事業セグメントは、コンサルティング業を主な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	合計
当期償却額	589
当期末残高	-

(注) 当社グループの事業セグメントは、コンサルティング業を主な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、関連するセグメント名は記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	263.82円	287.61円
1株当たり当期純利益金額	72.87円	63.32円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	72.58円	63.26円

(注) 1. 株式給付信託(J-ESOP)制度及び業績連動型株式報酬制度において、信託口が保有する株式を、「1株当たり純資産額」の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております(前連結会計年度1,514,440株、当連結会計年度1,634,140株)。

また、「1株当たり当期純利益金額」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(前連結会計年度1,500,336株、当連結会計年度1,543,291株)。

2. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	1,407,362	1,210,026
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	1,407,362	1,210,026
期中平均株式数(株)	19,312,690	19,109,979
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
普通株式増加数(株)	76,618	17,784
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—